

様式第二号の九(第八の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 8月 7日

島根県知事 殿



提出者

住所 島根県鹿足郡吉賀町六日市476番地2

氏名 片山建設株式会社

代表取締役社長 片山拓三

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0856-77-0046

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	片山建設株式会社
事業場の所在地	島根県鹿足郡吉賀町六日市476番地2
事業の種類	総合建設業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	705t	全処理委託量	705t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	600t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:
廃プラスチック類)

① 排出量 1.9 t	項目 実績値 1.9 t	② 自ら直接 再生利用した量 0	③ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 0	④ 自ら中間処理 した量 0	⑤ ④のうち熱回収 を行った量 0	⑥ 自ら中間処理した 後の残さ量 0	⑦ 自ら中間処理によ り減量した量 0	⑧ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 0	⑨ 自ら中間処理した後 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 0	⑩ ⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0	⑪ ⑪のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量 0	⑫ ⑫のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 0	⑬ ⑬のうち優良認定 業者への処理委託量 0
⑭ 不要物等発生量 0	有償物量 0	⑮ 自ら直接 再生利用した量 0	⑯ 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 0	⑰ 自ら中間処理 した量 0	⑱ ④のうち熱回収 を行った量 0	⑲ 自ら中間処理した 後の残さ量 0	⑳ 自ら中間処理によ り減量した量 0	㉑ 自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 0	㉒ 自ら中間処理した後 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 0	㉓ ㉓のうち熱回収認定 業者への処理委託量 0	㉔ ㉔のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量 0	㉕ ㉕のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 0	㉖ ㉖のうち優良認定 処理業者への処 理委託量 0

(第2面)

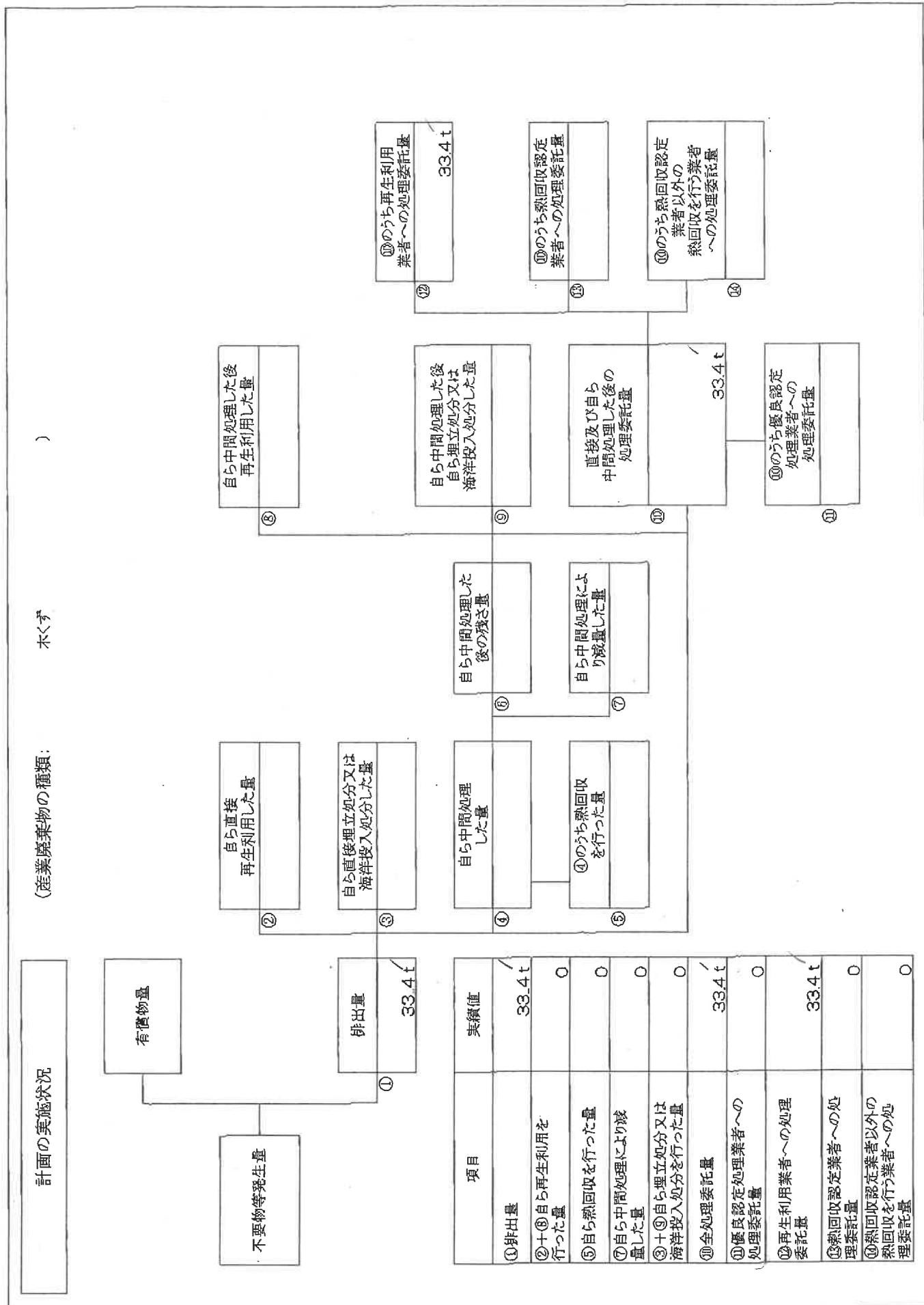
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)

木

1

(第2面)



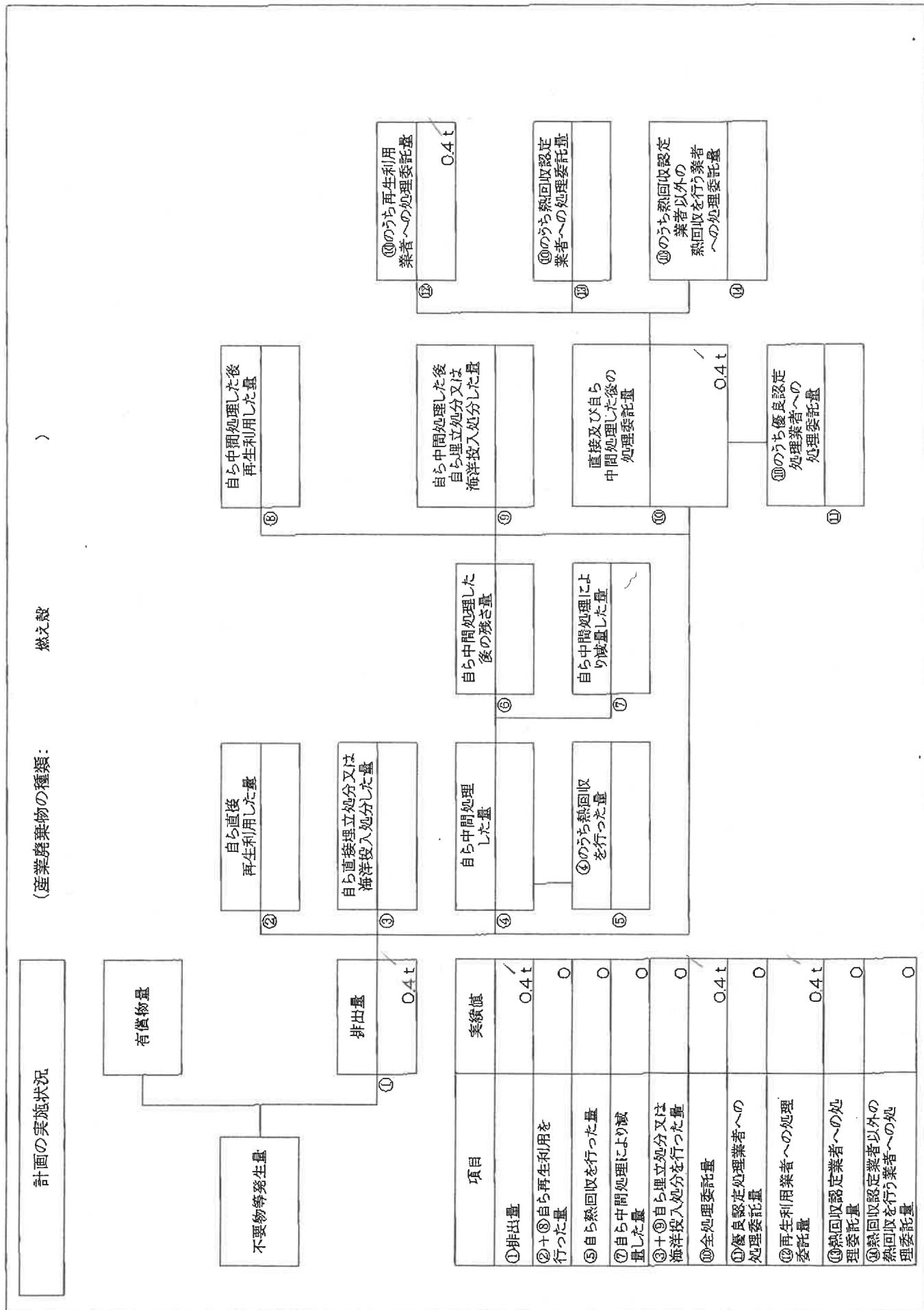
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)

卷之六

2

(第2面)



計画の実施状況 (産業廃棄物の種類: がれき類)

有機物量

不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量排出量
1.92t自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③自ら中間処理
した量
④自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭

①排出量
1.92t
②+③自ら再生利用を行った量
0
④自ら中間処理により減量した量
0
⑤+⑥自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
0
⑦全処理委託量
1.92t
⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭優良認定処理業者への
処理委託量
0
⑪+⑫再生利用業者への処理
委託量
1.92t
⑫+⑬+⑭熱回収認定業者への処
理委託量
0
⑭+⑮然回収を行う業者への処
理委託量
0自ら中間処理した
後の残さ量
⑥自ら中間処理した後
自ら熱回収を行った量
⑧⑩+⑪+⑫+⑬+⑭のうち再生利用
業者への処理委託量
1.92t
⑪+⑫+⑬+⑭のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0
⑪+⑫+⑬+⑭のうち熱回収部
門以外の業者による
熱回収を行った業者
への処理委託量
0⑪+⑫+⑬+⑭のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:
コンクリート般)

不要物等発生量

有價物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

排出量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

(第2面)

項目

自ら中間処理
した量自ら中間処理した
後の残さ量自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量①排出量
67.4t
②自ら直接
再生利用した量
③自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
④自ら中間処理
した量
⑤自ら中間処理によ
り減量した量
⑥自ら中間処理した後
の残さ量
⑦自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑧自ら中間処理により減
量した量
⑨自ら埋立処分を行った量
⑩自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
⑪全処理委託量
67.4t
⑫優良認定処理業者への
処理委託量
0
⑬再生利用業者への処
理委託量
67.4t
⑭熱回収認定業者への処
理委託量
0
⑮熱回収認定業者以外の
熱回収を行う業者への処
理委託量
0

実績値

④のうち熱回収
を行った量自ら中間処理によ
り減量した量自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0

③自ら中間処理を行った量

⑤自ら中間処理によ
り減量した量自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0⑦自ら中間処理により減
量した量⑨自ら埋立処分を行った量
0自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0⑩自ら中間処理により減
量した量⑪自ら埋立処分を行った量
0自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0⑪全処理委託量
67.4t⑫のうち優良認定
業者への処理委託量
0自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0⑭再生利用業者への処
理委託量
67.4t⑮熱回収認定業者への処
理委託量
0自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0⑮熱回収認定業者への処
理委託量
0⑯のうち熱回収認定
業者以外の熱回収を行
う業者への処理委託量
0自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:
建設混合系棄物)

有機物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

排出量
3.5t

自ら中間処理
した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

項目
実績値
3.5t

①排出量
②自ら再生利用を
行った量
○

③自ら熱回収
を行った量
○

④自ら中間処理
した後の残さ量
○

⑤自ら中間処理によ
り減量した量
○

⑥自ら中間処理
した量
○

⑦自ら熱回収
を行った量
○

⑧自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
○

⑨自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
○

⑩自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑪自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑫自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑬自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑭自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑮自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑯自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑰自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑱自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑲自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

⑳自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った量
○

(第2面)

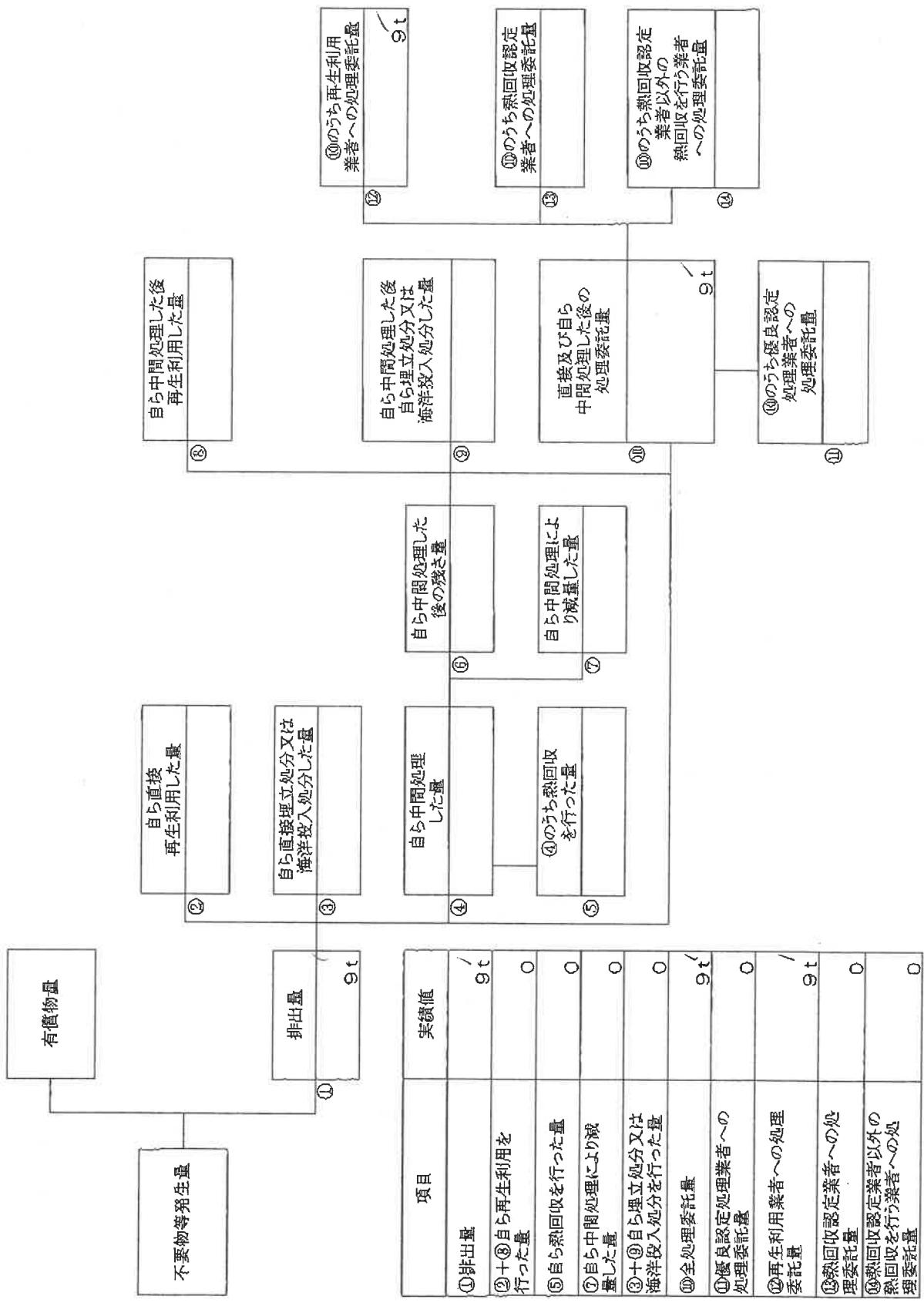
計画の実施状況

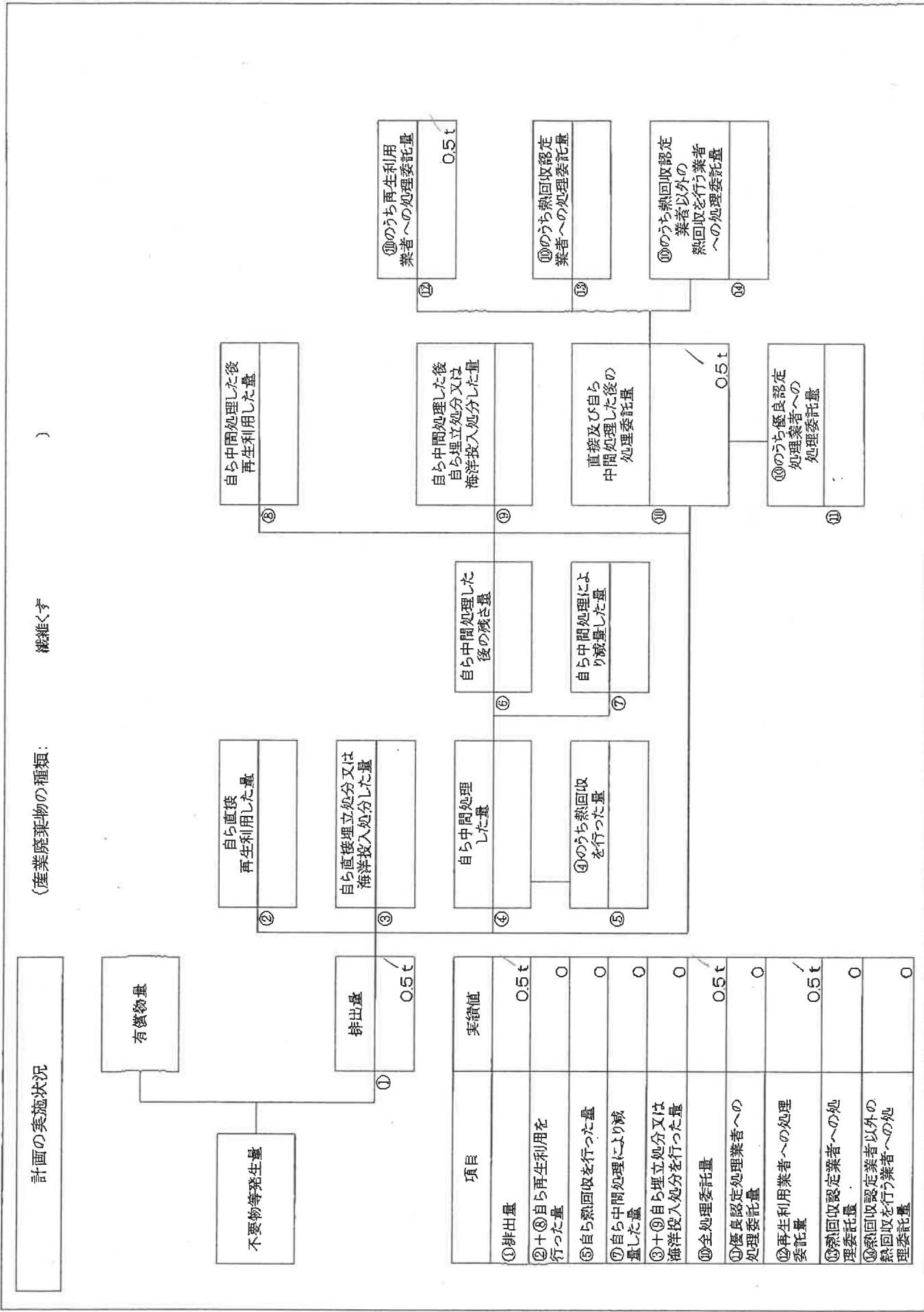
(産業廃棄物の種類)

卷之三

10

(第2面)





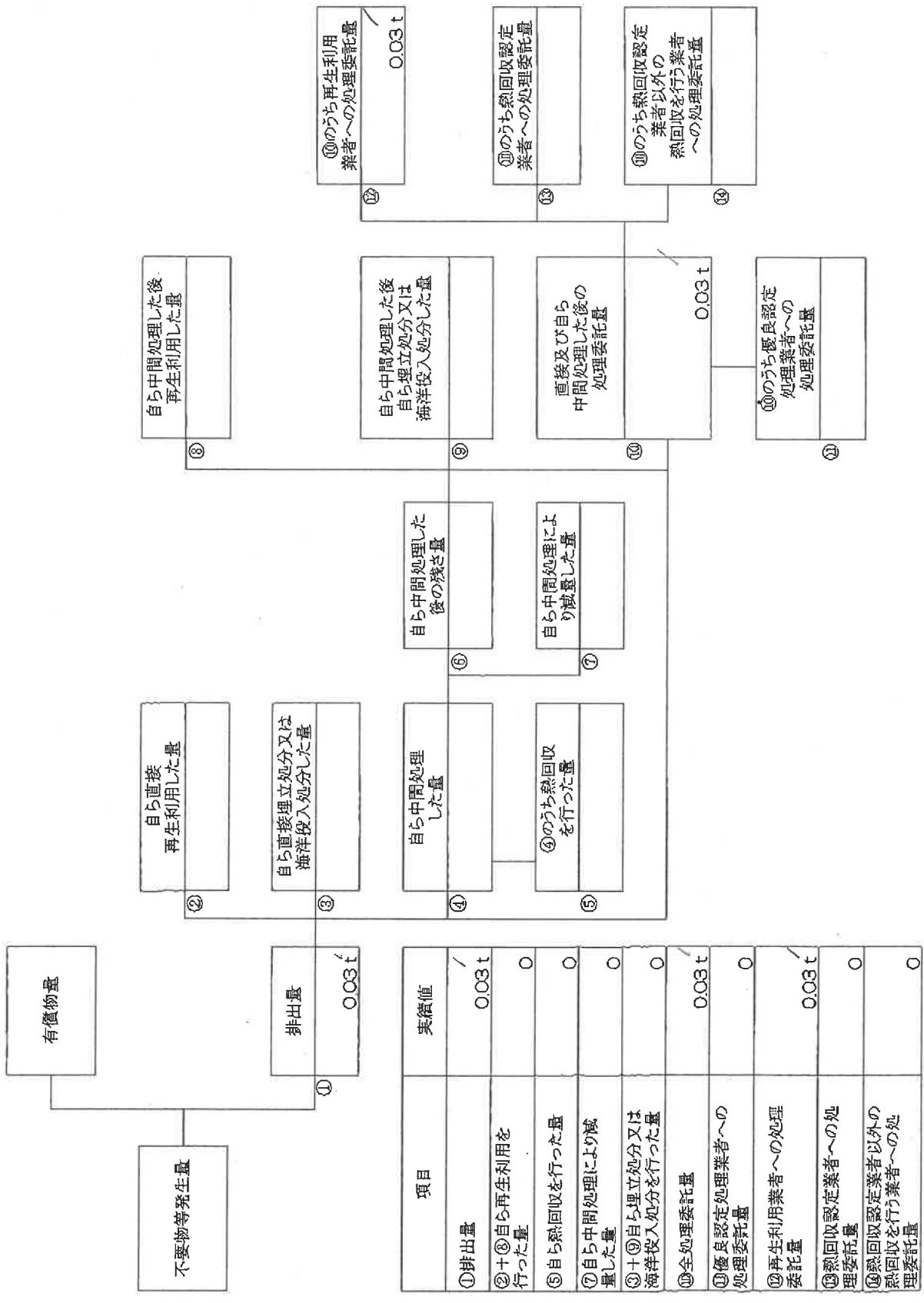
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)

卷之三

1

(第2面)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。